

井の田が、ひびきわたる強いつ組織へと導く。

世の中から愛される
強い組織へと導く。

一般財団法人日本次世代企業普及機構(通称:ホワイト財団)は、
「次世代に残すべき素晴らしい企業」を発見し、ホワイト企業認定によって企業の取り組みを評価・表彰する組織です。
また、社内のホワイト化を目指す企業を、世の中から愛される
“強い組織”へと導くべく、道標となる様々なサポートサービスを
提供、実施しております。
人々がそれぞれの個性と特徴を生かしながら、溌剌と創造的に
働く。そのような企業で溢れ、明日が楽しみに思える社会の
実現を目指します。

ホワイト財団の考える ホワイト企業とは

私たちが考える「ホワイト企業」とは、いわゆる世間で言われ
ている「ブラック企業ではない企業」ではなく「家族に入社を
勧めたい、次世代に残していく企業」を指します。
具体的には、下記の3要素を併せ持つこそ、ホワイト企業と
呼ぶにふさわしい企業ではないかと考えます。



ホワイト企業認定



企業のホワイト化を総合的に評価する
国内唯一の認定制度

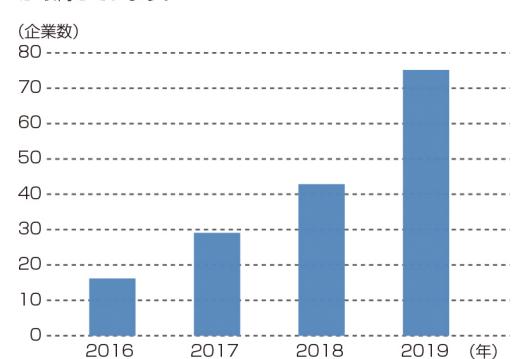


ホワイト企業の要件について、1,000社以上の調査実施により企業のホワイト化で取り組むべき70設問を作成しました。この70設問を7つの項目にわけ、総合的に判断・評価して認定を付与しています。

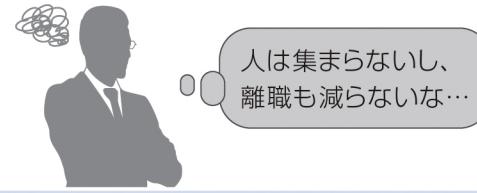
一つの取り組みにフォーカスするのではなく、総合的に判断・評価しているのは、日本の認定組織においてホワイト企業認定のみです。

ホワイト企業認定 取得社数

認定取得社数は年々増加しており、2020年2月時点76社
が取得しています。



ホワイト企業認定は、優秀な人材の「採用」「定着」に効果があります!



自社の“本当の強み・魅力”について、誰が見ても
効果的なPRができますか?



ホワイト企業認定取得することで解決できます!

優秀な人材が集まる・定着する企業に

認定を社内外でアピールすることで、他社との差別化が図れ、求人応募数の増加や優秀な人材の獲得に大きな成果をもたらします! また、魅力のある会社であることが、優秀な人材の定着に繋がります!

第三者評価と認定ロゴの活用で、
誰が見ても魅力的で効果的なPRができる!

審査を受けても
認定されなかったら?

認定審査を受けていただけでも
企業にとってはプラスになります!

認定の審査項目は
優秀な人材が活躍できる企業に
なるためのヒントが盛りだくさん!
審査結果から、全国の企業の取り組み状況と
比較ができ、今後取り組むべき課題が明確
になります。これらを改善していくことで、
優秀な人材の定着へと繋がります!

ホワイト企業認定が選ばれる理由

Merit!
1 求職者に
ダイレクトに伝わる

Merit!
2 改めて自社の良さが
社内に広まる

Merit!
3 自社の現状が可視化され
課題が明確になる

ホワイト企業認定取得企業 (一部/50音順)



審査・認定料金

ホワイト企業認定の審査と初回認定は無料で実施しており、1年更新ごとに更新料があります。
ホワイト企業アワードに受賞した企業は1回目の更新料(15万円)が免除されます。

審査料/無料 初回認定/無料
更新/15万円



ホワイト企業認定の設問構成

1. ホワイト企業認定 審査7項目	●ビジネスモデル／生産性 ●労働法遵守 ●リスクマネジメント ●ダイバーシティ&インクルージョン	●ワーク・ライフバランス ●健康経営 ●人材育成／働きがい
2. 設問数	●全70設問(回答時間の目安:約15分)	
3. 回答方法	各設問について、判断基準を参考にしながら 「はい」「いいえ」でご回答ください	

企業規模区分と緩和内容

全ての企業を公平に審査するため企業規模で区分けし、規模区分に緩和条件を設けています。

	大規模区分	中規模区分	小規模区分
従業員数	1,000名以上	100名～999名	99名以下
緩和内容	なし	下記项目的 不認定基準に緩和 ●リスクマネジメント	下記项目的 不認定基準に緩和 ●ビジネスモデル／生産性 ●ワーク・ライフバランス ●健康経営 ●人材育成／働きがい ●ダイバーシティ&インクルージョン ●リスクマネジメント

認定ランクおよび認定基準

認定名称／ロゴマーク	大規模区分	中規模区分	小規模区分
プラチナ	90%以上	80%以上	70%以上
ゴールド	80%以上	70%以上	60%以上
シルバー	70%以上	60%以上	50%以上
ブロンズ	60%以上	50%以上	40%以上
レギュラー	50%以上	40%以上	30%以上

不認定基準

	大規模区分	中規模区分	小規模区分
労働法遵守項目 はすべての規模区分にて 満点が必要 となります			
不認定基準1	全項目について、 3問以上の「はい」が必要	下記の項目について、 1問以上の「はい」が必要 ●リスクマネジメント	下記の項目について、 1問以上の「はい」が必要 ●ビジネスモデル／生産性 ●ワーク・ライフバランス ●健康経営 ●人材育成／働きがい ●ダイバーシティ&インクルージョン

認定取得までの流れ

1. WEB審査を受ける
ホワイト財団のHP(<http://jws-japan.or.jp>)より審査を受けていただきます。
2. WEB審査の結果をフィードバック
各項目が点数で表示されますので、自社の状況、弱みと強みがわかります。
3. 仮認定／根拠書類提出
1のWEB審査の段階で、認定基準を満たしていた場合「仮認定」となり、その後、書類審査に進んでいただきます。

仮認定後の書類審査について

- ① 根拠書類の提出
審査結果に基づいた、根拠書類のご提出
- ② 労働法遵守証明書の提出
「労働法遵守」の項目について専門家によるご証明
※弁護士、社労士、労働者代表のいずれかのサインが必要になります。
- ③ 財務状況証明書の提出
「ビジネスモデル／生産性」の項目について「はい」と回答した設問に該当箇所がある場合のみ、専門家によるご証明
※会計士、税理士のいずれかのサインが必要になります。
- ④ ホワイト企業認定に係る承諾書の締結
審査点数や、根拠書類に虚偽がないことなど、最終の確認にあたり、別途「秘密保持契約書」の締結をさせていただいております。

4. 認定

- ・各ランクのホワイト企業認定ロゴマーク
 - ・ホワイト企業認定プレート
 - ・ホワイト企業認定証
- を贈呈、付与いたします。



ホワイト企業アワードとは

ホワイト企業アワードは今年一番注目すべき全国の「素晴らしい会社」を世間に認知させる目的で表彰する日本最大のホワイト企業イベントです。当アワードの受賞企業の従業員数は、最高数万人規模から7名の企業までが選出されており、企業規模は一切問いません。



期待する企業像

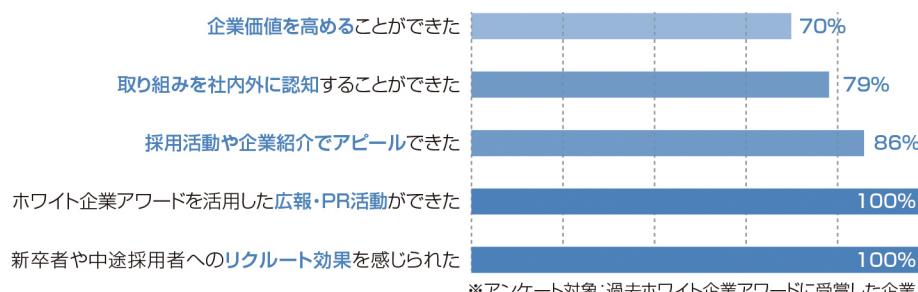
- ・人口動態に左右されることなく、高い生産性を持った企業
- ・個性と特徴を生かしながら柔軟と創造的に働く人材に溢れた企業
- ・業界をリードし、ホワイト企業の意義を広く世間に普及していく企業



ホワイト企業認定の審査基準となる6つの指標とホワイト企業アワードで表彰する部門



ホワイト企業アワードを受賞した効果



認定コンサルタント紹介制度



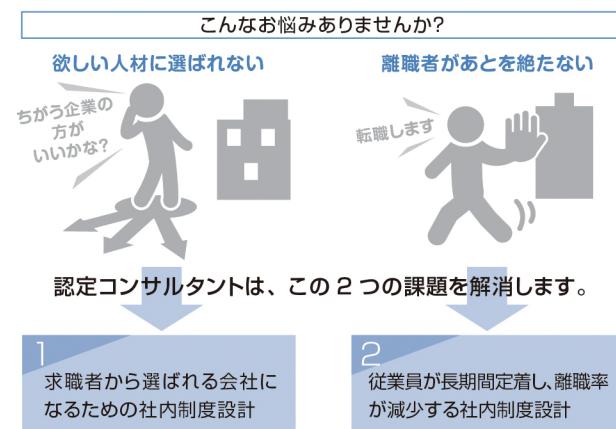
ホワイトパートナー



認定コンサルタントとは

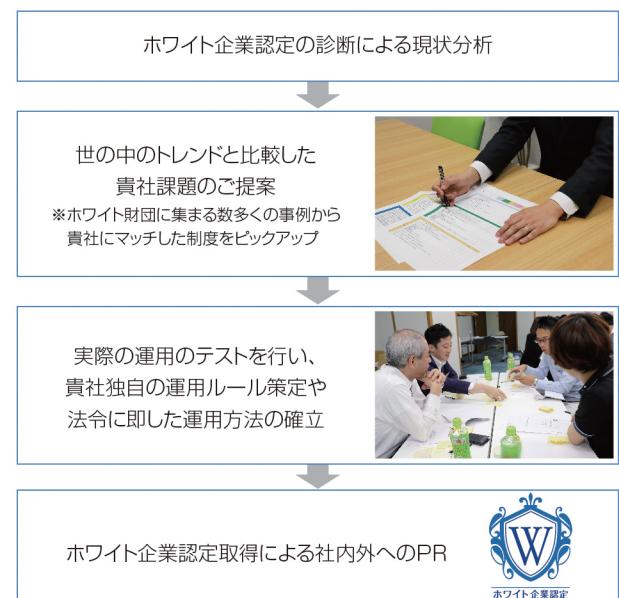
認定コンサルタントは、ホワイト財団が認定しているホワイト化コンサルティングのプロフェッショナルです。貴社の問題点をヒアリングし、貴社が「次世代に残すべき素晴らしい企業=ホワイト企業」になるべく全力でサポート致します。

認定コンサルタントができること



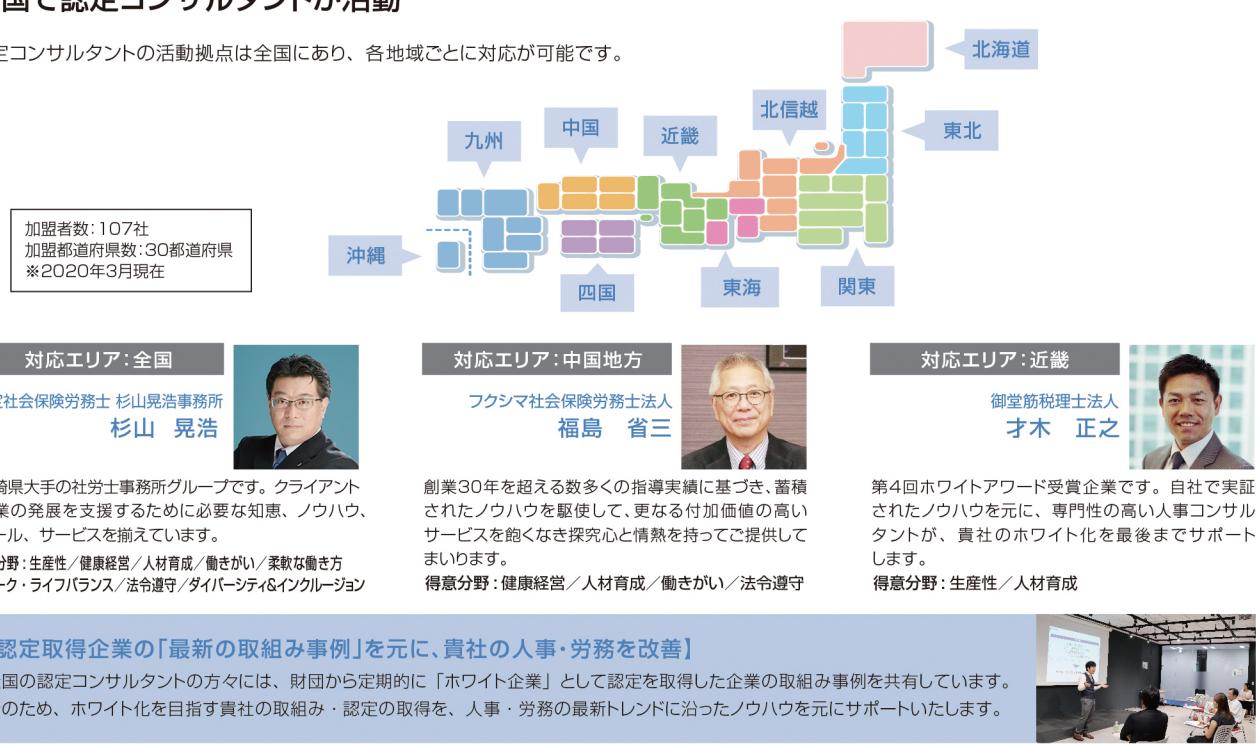
コンサルティングのサポートの流れ

制度設計から運用、PRまで一連で実施することで、貴社の魅力を社内外に効果的に伝えることができます。



全国で認定コンサルタントが活動

認定コンサルタントの活動拠点は全国にあり、各地域ごとにに対応が可能です。



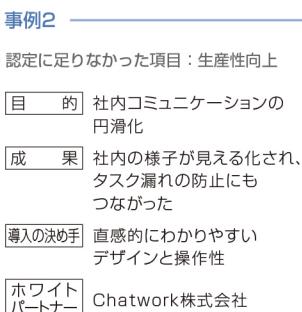
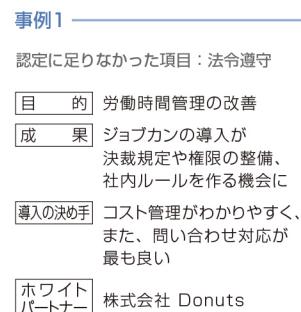
ホワイトパートナーとは



財団の趣旨に賛同し、日本企業のホワイト化を共に推進し、7つの項目において、ソリューションコンテンツを商品として提供している企業をホワイトパートナーとして紹介しています。

※ホワイトパートナーは、ホワイト企業認定の取得またはチャレンジ!ホワイト企業定の取得が条件となります。

パートナー制度の活用方法

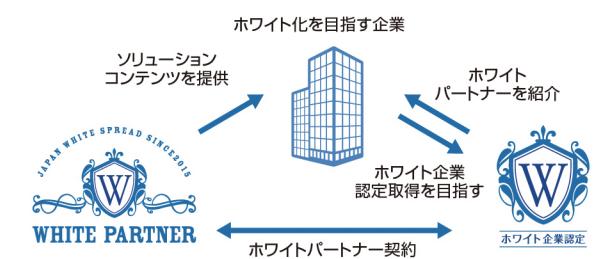


ホワイトパートナー企業様(一部)



パートナー企業からの 財団へのノウハウの提供

ホワイト企業であるための定義は、時代によって変化し、かつ専門性が問われ続けます。私たちホワイト財団は偏った経験にこだわることなく、その分野のスペシャリストの知見をお借りし、常に最新の情報を皆様に提供するスキームを実現しています。





ホワイト企業認定

ホワイト企業認定マークに込めた想い

Whiteの頭文字「W」をモチーフとし、伝統と信頼、誠実で素晴らしい企業を次世代へつなぐ多様性・成長・発展、クリーンで明るい未来をイメージ。

「W」の周りを囲むのは“ヒカゲノカズラ”という日本の伝統的なシダ植物で、古事記に登場する神話、アメノウズメがヒカゲノカズラをまとい世界に太陽を蘇らせたように、企業を人々から愛される“強い組織”へと導く、そのシンボル・道標が「ホワイト企業認定」です。

そこに集う人々がそれぞれの個性と特徴を生かしながら、挑戦と創造的に働く、そのような企業で溢れる社会にするという強い想いが込められています。



代表理事 五味田匡功

監事 杉浦佳浩

財団概要

財団名	一般財団法人 日本次世代企業普及機構
通称名	ホワイト財団
設立日	2015年8月11日
理 事	代表理事 五味田匡功(ソビア社会保険労務士事務所 所長)
評議員	評議員会議長 岩元翔(株式会社ソビア 代表取締役) 柴田年和(TSAコンサルティング株式会社 代表取締役／公認会計士)
監 事	杉浦佳浩(代表世話人株式会社 代表取締役)
所在地	〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町2丁目2-15 ハウゼー堺筋本町駅前ビル7階 株式会社ソビア 内
T E L	0120-514-461
F A X	06-6282-7417
W E B	http://jws-japan.or.jp
事務局	株式会社ソビア／ソビア社会保険労務士事務所  http://sovia.jp